

平成 28 年 度

九州大学大学院医学系学府
医科学専攻修士課程

授 業 時 間 割

九州大学大学院医学系学府

平成28年度 学年暦 (医学系学府)

行 事 名	日 程	備 考
※前学期開始	4月1日 (金)	
※春季休業	4月1日 (金) ~ 4月10日 (日)	
※学生定期健康診断 (医学系学府関係)	4月4日 (月) 午後 修士・専門職1年 (男女) 4月8日 (金) 午後 修士・専門職2年 (男女) 博士1年~4年 (男女)	
医学系学府大学院入学式 (入学者説明会)	4月8日 (金)	
※前学期授業開始	4月12日 (火)	
前学期授業開始 (医学系学府)	4月12日 (火) (一部科目を除く)	
※本学記念日	5月11日 (水)	休業日
※夏季休業	8月1日 (月) ~ 9月30日 (金)	
※秋季学位記授与式	9月26日 (月)	
※前学期終了	9月30日 (金)	
※後学期開始	10月1日 (土)	
※秋季入学式	10月3日 (月)	
後学期授業開始 (医学系学府)	10月3日 (月)	
※体育祭	10月8日 (土)	
※九大祭	11月18日 (金) ~ 11月21日 (月)	休業日
※冬季休業	12月26日 (月) ~ 1月4日 (水)	
※大学入試センター試験	1月14日 (土) ~ 1月15日 (日)	
※一般入試 (前期日程)	2月25日 (土) ~ 2月26日 (日)	
※一般入試 (後期日程)	3月12日 (日)	
※学位記授与式	3月24日 (金)	
※後学期終了	3月31日 (金)	

(注) 1. ※印は九州大学全学行事

2. 休業日において、特に必要がある場合は授業を行う。

1. 履修方法及び修了要件

(1) 履修方法

- ① 1年次には講義科目・実習科目の履修を主体とし、原則として1年次のうちに医学の基本を修得することに重点を置く。又、入学後、研究室に配属し、専門分野研究指導を行う。
 - ・医学の広い知識を系統的に修得するため、選択必修科目として「医学概論1単位」、「生命倫理学、1単位」、「人体構造と機能Ⅰ～Ⅳ（各1単位）」・「微生物・薬物と生体反応Ⅰ～Ⅳ（各1単位）」・「病因と病態Ⅰ～Ⅳ（各1単位）」・「疫学・医学統計学Ⅰ～Ⅳ（各1単位）」計18科目18単位（医科学ゼミナールを除く。）及び後述の医科学ゼミナール（8単位以上16単位以下）より合わせて20単位以上を履修する。
 - ・選択必修科目で修得した知識を深め研究技法を修得する実習科目として、各教室の指導教員のもとで行う医科学実習Ⅰ（1年後期～2年後期各2単位計6単位）及び医科学実習Ⅱ（①「解剖学基礎実習」・②「生理学基礎実習」・④「分子生物学基礎実習」・⑤「病理学基礎実習」・⑥「微生物学・免疫学基礎実習」・（ただし医科学実習Ⅱの履修上限は2単位）の計5科目5単位を選択実習科目として開設し、6単位以上を履修する。本専攻学生と医学部学生の交流は、双方に取り有益であるため、学部教育の相当実習科目に参加する機会を設ける。
- ② 2年次には、基本的に教室での研究指導を中心とし、医科学実習Ⅰを履修する。また、選択科目として、代表的疾患及びその診断、治療の基本的方法及び原理について臓器別に講義する「臨床医学Ⅰ～Ⅳ」各2単位4科目を開設する。なお、選択科目については単位認定を行うが、修了要件には含まないので注意すること。

なお、博士課程との一貫性をもたせるため、基礎医学研究の最新の知見を講義する自由科目を開設する。この自由科目についても修了要件単位数には算入しない。

- ③ また、専門分野に関する研究指導に主体を置き、履修した医学知識を基礎に、専門分野の知識と研究手法の修得に努め、修士論文の作成に重点を置き、特に2年次後期の論文作成、発表等の修士論文作成・報告のための手法については必修科目として単位認定を行う。（4単位）
- ④ 医科学ゼミナールは、1年次前期～2年次を通して開設し、指導教員の研究室ゼミナールに参加し、1年次においては基本的研究手法の修得と最新の医学知識を学習する。2年次においては、研究テーマの選定、プロトコルの作成、実験、検証、論文作成、発表等の修士論文作成・報告のための手法を学ぶ。

また、生命倫理に関するパートにおいて、生命倫理学教員と指導教員の連携により、自己の専門分野や研究課題に即した倫理的諸問題について学習する。

- ④ 単位の認定は、出席日数、試験により行う。出席日数は3分の2以上の出席が必要である。試験の方法については授業担当教員に一任する。
- ⑤ 授業科目の成績は、A、B、C及びDの4種の評語をもってあらわし、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。

なお、成績評価基準は次のとおりとする。

A	100点～80点
B	79点～70点
C	69点～60点
D	59点以下

(2) 修了要件

本専攻に2年以上在学し、所要の授業科目を30単位以上修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

2. 授業科目及び修得に関する単位数

九州大学大学院医学系学府医科学専攻（修士課程）

必修科目

授 業 科 目 名	配当 年次	単位数	担当教員（世話人）	1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
修士論文作成演習	2	4	指導教員より4単位認定				4

※必修科目4単位修得すること。

選択必修科目

授 業 科 目 名	配当 年次	単位数	担当教員（世話人）	1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
医学概論	1	1	馬場園 明 教授	1			
生命倫理学	1	1	丸 山 マサ美 講師	1			
人体構造と機能Ⅰ	1	1	目 野 主 税 教授	1			
人体構造と機能Ⅱ	1	1	片 渕 俊 彦 准教授	1			
人体構造と機能Ⅲ	1	1	住 本 英 樹 教授	1			
人体構造と機能Ⅳ	1	1	續 輝 久 教授	1			
微生物・薬物と生体反応Ⅰ	1	1	柳 雄 介 教授	1			
微生物・薬物と生体反応Ⅱ	1	1	林 哲 也 教授	1			
微生物・薬物と生体反応Ⅲ	1	1		1			
微生物・薬物と生体反応Ⅳ	1	1	笹 栗 俊 之 教授	1			
病因と病態Ⅰ	1	1	中 川 和 憲 講師	1			
病因と病態Ⅱ	1	1	小 田 義 直 教授	1			
病因と病態Ⅲ	1	1	工 藤 恵 子 講師	1			
病因と病態Ⅳ	1	1	池 田 典 昭 教授	1			
疫学・医学統計学Ⅰ	1	1	清 原 千香子 講師	1			
疫学・医学統計学Ⅱ	1	1	清 原 千香子 講師	1			
疫学・医学統計学Ⅲ	1	1	清 原 千香子 講師	1			
疫学・医学統計学Ⅳ	1	1	清 原 千香子 講師	1			
医科学ゼミナール	1・2	8～16	指導教員より8単位以上 16単位以下認定	4	4	4	4

※選択必修科目より20単位以上を修得すること。

選択必修実習科目

授 業 科 目 名	配当 年次	単位数	担当教員（世話人）	1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
医科学実習Ⅰ	1・2	6	指導教員より6単位認定		2	2	2
医科学実習Ⅱ	解剖学基礎実習	1	1	神野尚三教授		1	
	生理学基礎実習	1	1	片渕俊彦准教授		1	
	分子生物学基礎実習	1	1	目野主税教授		1	
	病理学基礎実習	1	1	小田義直教授		1	
	微生物・免疫学基礎実習	1	1	林哲也教授		1	

※6単位以上修得すること。

※医科学実習Ⅱは2科目を限度とし、世話人が実習日を指定する科目以外は世話人と受講者間の話し合い
で実施日を決定すること。

選択科目

授 業 科 目 名	配当 年次	単位数	担当教員（世話人）	1年次		2年次	
				前期	後期	前期	後期
臨床医学Ⅰ	2	2	飛松省三教授 古江増隆教授			1 1	
臨床医学Ⅱ	2	2	中野村雅史教授 野村政壽講師			1 1	
臨床医学Ⅲ	2	2	井手友美講師 中西洋一教授			1 1	
臨床医学Ⅳ	2	2	加藤聖子教授 田口智章教授			1 1	

※この科目については単位認定を行うが、修了要件には含まない。

自由科目

授 業 科 目 名	配当 年次	単位数	担当教員（世話人）
医学研究特論Ⅰ	1・2	1	大学院委員会委員長
医学研究特論Ⅱ	1・2	1	〃

※自由科目は本学大学院医学系学府博士課程進学予定者の博士課程講義の早期履修であり、修士課程の単
位としては認定しない。

従って、他の博士課程に進学した場合はそこで単位として認められない可能性があるので注意すること。